令和５年度 拓殖大学北海道短期大学学長 入学式告辞

学長　田中　英彦

例年よりも雪の多かったここ深川も、３月には急激に雪融けが進み、蕗の薹や福寿草が顔を出す待望の春がやってきました。この良き日に拓殖大学北海道短期大学に入学された新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。私たち教職員一同、皆さんのご入学を心から歓迎し、お祝いいたします。また、これまで新入生を慈しみ育ててこられた保護者の皆さまに心から敬意を表するとともに、入学の喜びを分かち合いたいと思います。そして、拓殖大学国際学部農業総合コース３年生の皆さん、本学で農業を共に学ぶ学生として、皆さんを心から歓迎いたします。

この３年間は、新型コロナウィルスとの戦いの日々でした。皆さんの高校生活も様々な制約の中で、友人との交流など不完全燃焼の部分もあったものと思います。ようやく、この３月１３日からはマスクの着用は個人の判断に委ねられ、５月８日からは、新型コロナウィルス感染症は５類感染症に位置付けられます。この入学式が４年ぶりに、田中昌幸深川市長をはじめご来賓の方々や保護者の方々のご臨席の下で挙行できることを誠に嬉しく思います。ただし、基本的な感染対策は今後も重要です。引き続き、必要な場面でのマスク着用、三密の回避、手洗い・消毒を励行するなどして、自分と家族・友人を守る行動を心掛けてください。

新入生の皆さんが入学されたこの拓殖大学北海道短期大学は、今から５７年前の１９６６年に創立されました。そして、当初の納内キャンパスからこのメムの地に１９９２年に移転して３１年目を迎えました。本学の建学の精神は、「拓殖大学の伝統である開拓者精神を継承し、実践的な知識や技術と豊かな人間性を兼ね備えた、広く社会の発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする」です。皆さんは、この２年間でそれぞれの分野の基礎をしっかりと学び実践力を身に着けるとともに、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の３つの能力から構成される「社会人基礎力」を高めて、それぞれの進路に力強く羽ばたいてください。

本学は、この実り豊かな美しい北の大地北海道深川市に居を定め、長きにわたり「すべての学生に成長と感動を」を教育の原点として、社会の状況に対応しながら、誠実に歩みを進めてまいりました。その間、１万３千人を超える卒業生を世に送り出し、先輩の方々はそれぞれの分野で地域を支えるリーダーとして立派に活躍をしておられます。大学の伝統は、学生の皆さんが創っていくものです。それは、単に古きものを受け渡すだけでなく、時代の変化の中で革新してこそ生き残っていくものです。新入生の皆さんの力で、新たな伝統を創造してください。

本学は開学以来、農業、経済、幼児教育の三本の柱で、教育・研究活動を推進してきました。農業は作物を育て、経済は地域を育て、幼児教育は子供を育てます。そして、この短期大学での２年間の学びのなかで、感動体験が学生を育てると信じています。皆さんは、授業や実

習・研修のみならず、広大なキャンパスのなかでのクラブ活動や全学で取り組む拓大ミュージカル、あるいはアルバイトやボランティア活動に自ら積極的に挑戦してください。まさに青春真っただ中です。勉強も遊びも全力で取り組んでください。時には失敗し挫折感を味わい、友達と喧嘩して悩むこともあるでしょう。しかし、それを乗り越えたときに、人は大きく成長します。

志を抱き海外から入学された留学生の皆さん、心から歓迎いたします。遠く母国を離れて文化、気候風土、風俗習慣の異なる土地での生活は、何かと戸惑うことが多いと思いますが、日本人学生や地域の人々と積極的に交流を深めて、意義深い学生生活を送ってください。また、多くの困難を乗り越えて社会人入学を果たされた皆さん、あなた方の勉学への強い意欲に心から敬意を表します。授業や実習に取り組む皆さんの真剣な姿は、若い学生たちに大きな刺激を与えます。新たな青春の２年間を若者と共に楽しみ、今後の多様な生き方の糧を得ることを望みます。

石狩川が運んだ栄養分に富んだ本学の実験・実習農場は、全道有数の米どころ深川市の中でも一等地といえる素晴らしい土壌を有し、美味しい農産物が生産されます。寒冷な北海道のなかにあって、気象的にも最も恵まれた地域であることを活かして、本学はサツマイモやラッカセイなど、かつては北海道では栽培は難しいといわれた作物の試作にいち早く取り組み、北海道の新顔作物としての導入と作付面積の拡大に貢献してきました。新入生の皆さんも、この土壌と作物に触れ、作物の成長に感動し、収穫の喜びを味わってもらいたいと思います。

本学は、地域社会への貢献を教育理念の重要な柱に掲げ、地域社会とともに発展する短期大学として、「農業セミナー」、「保育セミナー」、「拓大ミュージカル」などを開催するとともに、「ふかがわ夏祭り」や「ふかがわ氷雪まつり」などの地域の行事に学生が積極的に参加してきました。本学は地元深川市から大きなご支援をいただいていますが、深川市をはじめ近隣の自治体や住民の方々が学生に寄せてくださる眼差しは暖かく、この北空知の地に居を定めている幸せを強く感じています。新入生の皆さんも交流の輪に入り、企画を推進する者のひとりとなって、地域の方々から愛される拓大生になってください。

大学生活においては、ときに苦しいことや悩むことがあるでしょう。何でも相談できる友人や先輩を多く持つことが必要ですが、私たち教職員にも遠慮なく相談してください。私たちは、皆さんが有意義な学生生活が送れるよう、そして人間として大きく成長するよう、学生ファーストで最善を尽くします。学生と教職員との距離が近いことが、小規模短期大学である本学の最大の強みの一つです。

今日からいよいよ大学生です。健康に十分留意して悔いのない学生生活を送られることを願って、新入生への歓迎の辞とします。

以上